

3. 研究評価

3.1. 気象研究所評議委員会

気象研究所評議委員会の役割

気象研究所評議委員会は、気象研究所長に対し「気象研究所の長期研究計画の策定に関する助言」及び「気象研究所が実施する研究課題の評価に関する報告」を行うため、平成7年12月に設置された委員会であり、気象業務に関する研究について広く、かつ高い見識を有する研究所外の外部有識者により構成されている。

また、安全・安心な生活の実現に向け重点的に実施すべき研究（重点研究）の外部評価を実施するため、評価対象となる研究の分野にあわせ、評議委員の中から「気象研究所評議委員会評価分科会」の委員を選出して外部評価を実施している。

平成26年度気象研究所評議委員名簿（所属、役職等は平成26年7月25日現在、五十音順、敬称略）

委員長	田中正之	東北大学 名誉教授
委員	岩崎俊樹	東北大学大学院理学研究科 教授
	蒲生俊敬	東京大学大気海洋研究所 教授
	木村富士男	（独）海洋研究開発機構 シームレス環境予測研究分野 特任上席研究員
	小泉尚嗣	（独）産業技術総合研究所 活断層・火山研究部門 総括研究主幹
	佐藤 薫	東京大学大学院理学系研究科 教授
	田中 佐	山口大学大学院理工学研究科 教授（特命）
	田中 博	筑波大学 生命環境系 計算科学研究センター 教授
	泊 次郎	元 朝日新聞社 編集委員
	中島映至	東京大学大気海洋研究所 地球表層圏変動研究センター長
	藤吉康志	北海道大学低温科学研究所 特任教授
	古川信雄	（独）建築研究所 シニアフェロー
	渡邊朝生	（独）水産総合研究センター 中央水産研究所海洋・生態系研究センター長
	渡辺秀文	東京大学 名誉教授

平成26年度の開催状況

平成26年度は、次のとおり第36回気象研究所評議委員会を開催した。

第36回気象研究所評議委員会

日 時：平成26年7月25日（金） 13:30～15:55

場 所：東京管区気象台第一会議室（気象庁8階）

出席者：

（委員）田中正之委員長、岩崎俊樹委員、木村富士男委員、小泉尚嗣委員、田中博委員、泊次郎委員、藤吉康志委員、古川信雄委員、渡邊朝生委員、渡辺秀文委員

（気象研究所）気象研究所長、研究総務官、研究調整官、企画室長、予報研究部長、気候研究部長、台風研究部長、環境・応用気象研究部長、気象衛星・観測システム研究部長、地震津波研究部長、火山研究部長、海洋・地球化学研究部長、環境・応用気象研究部第一研究室長、

3. 研究評価

3.1. 気象研究所評議委員会 3.2. 気象研究所評議委員会評価分科会

地震津波研究部第四研究室長、火山研究部第二研究室長、研究評価官、他関係官

議事次第

- ・ 気象研究所長 挨拶
- ・ 評議委員の紹介
- ・ 議事
 - 議題 1 : 気象研究所の組織改編について (報告)
 - 議題 2 : 平成 25 年度評価結果について (報告)
 - 議題 3 : 平成 25 年度の研究活動について (報告)
 - 議題 4 : 平成 26 年度研究計画について (協議)
 - 議題 5 : 今年度の評議委員会の予定について (協議)
- ・ その他
- ・ 評議委員長総評

議事概要

- ・ 定足数の確認
 - 気象研究所評議委員会運営要領第 4 条に基づき、本日の議事が有効となることを確認した。
- ・ 気象研究所長挨拶
- ・ 評議委員の紹介
 - 気象研究所評議委員設置規則に基づき、各委員の任期は平成 26 年度末までであり、全委員に引き続き評議委員としてご指導いただくことを確認した。
- ・ 議題 1 : 気象研究所の組織改編について (報告)
 - 地震津波研究部、火山研究部の創設について説明した。
- ・ 議題 2 : 平成 25 年度評価結果について (報告)
 - 平成 25 年度の研究課題評価について、事前評価 12 課題はすべて修正の必要なし、終了時評価 18 課題は、非常に優れた研究が 1 課題とすぐれた研究が 17 課題、中間評価 2 課題はどちらも新規課題に移行と評価されたことを報告した。
- ・ 議題 3 : 平成 25 年度の研究活動について (報告)
 - 平成 25 年度の気象研究所の研究活動や広報、報道対応などを事務局から報告した。
- ・ 議題 4 : 平成 26 年度研究計画について (協議)
 - 平成 26 年度の研究計画の概要について説明し、委員から助言・意見を頂いた。
- ・ 議題 5 : 今年度の評議委員会の予定について (協議)
 - 平成 26 年度の評議委員会の予定として、研究計画 1 年目であり評価課題がないため評価分科会を開催しないことを提案し、了承された。
 - また、平成 28 年度に中間評価が集中することになるため、一部課題を平成 27 年度・平成 29 年度に中間評価を行うこと (具体的にどの課題をいつ中間評価するかは進捗をみながら事務局から提案すること) を提案し、了承された。

3.2. 気象研究所評議委員会評価分科会

平成 26 年度は評価対象課題がないことから、評議委員会評価分科会は実施しなかった。